



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月26日

上場会社名 タツタ電線株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5809 URL <https://www.tatsuta.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 森元 昌平  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 常務執行役員(氏名) 今井 雅文 TEL 06-6721-3011  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,305	12.0	978	81.1	1,066	78.3	659	45.4
2024年3月期第1四半期	15,445	4.8	540	64.8	598	36.8	453	40.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,107百万円(86.3%) 2024年3月期第1四半期 594百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	10.67	—
2024年3月期第1四半期	7.34	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	61,559	52,294	84.9	846.47
2024年3月期	61,119	51,186	83.7	828.54

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 52,294百万円 2024年3月期 51,186百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

2024年6月20日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2025年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	70,156,394株	2024年3月期	70,156,394株
2025年3月期1Q	8,377,370株	2024年3月期	8,377,260株
2025年3月期1Q	61,779,099株	2024年3月期1Q	61,780,332株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・2024年6月20日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2025年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益、設備投資、生産、個人消費等の各面で持ち直しが続きました。世界経済も一部の地域において弱含んでいるものの、持ち直しに向かうことが期待されている状況にあります。しかしながら、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、高水準で推移する資源価格や原材料価格、ロシア・ウクライナ情勢の長期化の影響等、依然として先行き不透明な状況が続いています。

当社製品の主要原料である銅の当第1四半期連結累計期間の国内建値平均価格は、前年同期を上回る水準となりました。

この間において、国内銅電線の需要は前年同期をやや上回る水準で推移する一方で、産業機器電線分野では需要停滞もみられました。機能性フィルムの主要用途であるスマートフォンの販売量は世界的な物価上昇、中国を中心とした景況悪化等による低迷からの回復傾向がみられました。

こうした環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は17,305百万円（前年同期比12.0%増）、営業利益は978百万円（前年同期比81.1%増）、経常利益は1,066百万円（前年同期比78.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は659百万円（前年同期比45.4%増）となりました。

当社は、本第1四半期決算短信の提出日現在、株式会社東京証券取引所に上場しておりますが、2024年6月20日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」及び同7月19日付「（変更）「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」の一部訂正について」でお知らせしましたとおり、JX金属株式会社による当社株式に対する公開買付けが同6月21日から同8月2日までの期間実施されており、本公開買付け及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、上場廃止となる予定です。

今後、両社の経営資源の効率的活用、電子材料分野における事業競争力の更なる強化、電線・ケーブル分野の事業基盤の強化等の事業シナジーを具現化し、企業価値向上に努めてまいります。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

#### <電線・ケーブル事業セグメント>

産業機器電線分野における需要停滞はあったものの、インフラ電線分野において電力会社や発電所向け及び建設電販向け等で増販（前年同期比11.5%増）となったこと、さらには原材料価格高騰による販売価格の見直し等により、売上高は12,473百万円（前年同期比12.8%増）となりました。営業利益は上記に加え、品種構成改善、コスト削減等に努めた他、銅価変動影響もあり、752百万円（前年同期比119.9%増）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムは、主要用途であるスマートフォンの需要が回復傾向で推移したことにより販売量が増加（前年同期比5.9%増）し、売上高は4,190百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は430百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

<その他事業セグメント>

センサー、医療機器部材、環境分析の各事業ともに需要は概ね堅調に推移し、売上高は646百万円（前年同期比15.9%増）となりました。営業利益は諸コスト増加もあり32百万円の損失（前年同期は34百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ440百万円増加し、61,559百万円となりました。これは、短期貸付金が減少したものの、受取手形及び売掛金および製品が増加したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ667百万円減少し、9,265百万円となりました。これは、未払金および未払法人税等が減少したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ1,107百万円増加し、52,294百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上および繰延ヘッジ損益が増加したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ1.2ポイント上昇し、84.9%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月20日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社（JX金属株式会社）による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」でお知らせしましたとおり、当社株式は上場廃止となる予定であるため、2025年3月期の連結業績予想は記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,780	1,519
受取手形及び売掛金	21,425	22,303
製品	4,169	4,754
仕掛品	6,617	6,803
原材料及び貯蔵品	1,645	1,999
短期貸付金	5,263	3,563
その他	1,102	1,820
貸倒引当金	△12	△159
流動資産合計	41,993	42,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,112	8,880
機械装置及び運搬具（純額）	2,633	2,753
工具、器具及び備品（純額）	370	484
土地	3,696	3,696
建設仮勘定	1,733	765
有形固定資産合計	16,545	16,580
無形固定資産		
ソフトウェア	126	120
ソフトウェア仮勘定	16	21
施設利用権	4	4
その他	1	1
無形固定資産合計	148	146
投資その他の資産		
投資有価証券	1,291	1,300
長期前払費用	52	52
退職給付に係る資産	183	180
繰延税金資産	687	476
その他	371	220
貸倒引当金	△154	△4
投資その他の資産合計	2,432	2,225
固定資産合計	19,125	18,953
資産合計	61,119	61,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,989	4,514
1年内返済予定の長期借入金	900	900
未払金	1,517	842
未払費用	1,489	1,096
未払法人税等	673	229
その他	708	1,041
流動負債合計	9,278	8,625
固定負債		
退職給付に係る負債	431	372
資産除去債務	110	110
繰延税金負債	20	24
その他	91	133
固定負債合計	653	640
負債合計	9,932	9,265
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	40,557	41,217
自己株式	△2,460	△2,460
株主資本合計	49,290	49,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	442	447
繰延ヘッジ損益	472	925
為替換算調整勘定	△45	△39
退職給付に係る調整累計額	1,026	1,011
その他の包括利益累計額合計	1,896	2,344
純資産合計	51,186	52,294
負債純資産合計	61,119	61,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	15,445	17,305
売上原価	12,532	13,807
売上総利益	2,913	3,498
販売費及び一般管理費	2,372	2,519
営業利益	540	978
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	11	14
為替差益	40	63
その他	7	10
営業外収益合計	61	91
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	3	2
経常利益	598	1,066
特別利益		
投資有価証券売却益	23	-
ゴルフ会員権売却益	0	-
固定資産売却益	2	-
特別利益合計	26	-
特別損失		
固定資産廃棄損	0	5
公開買付関連費用	12	188
特別損失合計	13	194
税金等調整前四半期純利益	611	872
法人税、住民税及び事業税	164	195
法人税等調整額	△6	18
法人税等合計	157	213
四半期純利益	453	659
親会社株主に帰属する四半期純利益	453	659



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	453	659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	5
繰延ヘッジ損益	49	452
為替換算調整勘定	7	5
退職給付に係る調整額	1	△15
その他の包括利益合計	141	448
四半期包括利益	594	1,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	594	1,107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

原材料費及び加工費の原価差異については、流動資産に繰り延べております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

当社は、2022年12月21日開催の取締役会において、当社のその他の関係会社であるJX金属株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対しては、本公開買付けへの応募を推奨することを決議いたしました。

また、2024年6月20日開催の取締役会において、改めて上記と同様の決議をいたしました。

なお、上記取締役会決議は、公開買付者が、本公開買付け及びその後の一連の手続により当社を公開買付者の完全子会社とすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

1. 公開買付者の概要

① 名称	J X金属株式会社	
② 所在地	東京都港区虎ノ門二丁目10番4号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 社長執行役員 林 陽一	
④ 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非鉄金属資源の開発・採掘</li> <li>・非鉄金属製品（銅、金、銀等）の製造・販売</li> <li>・電解・圧延銅箔の製造・販売</li> <li>・薄膜材料（ターゲット材、表面処理剤、化合物半導体材料等）の製造・販売</li> <li>・精密圧延品・精密加工品の製造・販売</li> <li>・非鉄金属リサイクル及び産業廃棄物処理</li> </ul>	
⑤ 資本金	75,000百万円（2024年3月31日現在）	
⑥ 設立年月日	2002年9月27日	
⑦ 大株主及び持株比率 （2024年3月31日現在） （注1）	E N E O Sホールディングス株式会社	100%

⑧ 当社と公開買付者との関係	
資本関係	公開買付者は、2024年3月31日現在、当社株式22,739,218株（所有割合（注2）：36.81%）を直接所有し、また、公開買付者の子会社を通じて当社株式を136,311株（注3）（所有割合：0.22%）間接所有しており、合わせて当社株式を22,875,529株（所有割合：37.03%）所有することにより、当社を持分法適用関連会社としております。
人的関係	2024年3月31日現在、当社の代表取締役は公開買付者の出身者です。当社の監査等委員ではない取締役のうち1名が公開買付者の常務執行役員としての地位を有しており、その他2名が公開買付者の出身です。また、当社の監査等委員である取締役のうち1名が公開買付者の出身です。 上記のほか、2024年3月31日現在、当社グループを除く、公開買付者グループからの当社グループへの出向者が10名（内在籍出向者2名、転籍出向者8名）おります。
取引関係	公開買付者グループは当社に対して、電気銅、金ショット・銀ボール、圧延銅箔等の供給等を行っております。
関連当事者への該当状況	当社は公開買付者の持分法適用関連会社であり、関連当事者に該当します。

（注1）「大株主及び持株比率（2024年3月31日現在）」は、公開買付者が提出した2024年3月31日に係る決算公告に記載された「9. 関連当事者との取引に関する注記（1）親会社」を基にしております。

（注2）「所有割合」とは、当社が2024年5月14日に提出した「2024年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」（以下「当社2024年3月期決算短信」といいます。）に記載された2024年3月31日現在の当社株式の発行済株式総数（70,156,394株）から、当社2024年3月期決算短信に記載された当社が所有する同日現在の自己株式数（8,377,260株）を控除した株式数（61,779,134株）に対する割合（小数点以下第三位を四捨五入しております。）をいいます。

（注3）上記のJ X金属商事の所有株式数（136,311株）には、対象者の取引先持株会であるタツタ電線共栄会を通じた持分として間接的に所有する当社株式49,996株（小数点以下切り捨て。）を含みます。

## 2. 買付け等の価格

普通株式1株につき、金720円

## 3. 買付予定の株券等の数

株券等の種類	買付予定数	買付予定数の下限	買付予定数の上限
普通株式	39,039,916（株）	18,446,882（株）	—（株）
合計	39,039,916（株）	18,446,882（株）	—（株）

## 4. 買付け等の期間

本公開買付けは、2024年6月21日より開始され、その公開買付期間は、2024年8月2日までの30営業日です。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
減価償却費	434百万円	428百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,059	3,835	14,894	550	15,445	—	15,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	7	7	△7	—
計	11,059	3,835	14,894	557	15,452	△7	15,445
セグメント利益 又は損失(△)	342	403	745	△34	710	△170	540

- (注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△170百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△173百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,473	4,190	16,664	640	17,305	—	17,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	5	5	△5	—
計	12,473	4,190	16,664	646	17,310	△5	17,305
セグメント利益 又は損失(△)	752	430	1,182	△32	1,150	△172	978

- (注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△172百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△175百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。